

令和四年度町政執行方針

工藤昇町長は、六期目の町政執行にあたり、令和四年第二回上ノ国町議会定例会において、次のように述べました。（内容を一部要約しています。）



はじめに

私は、去る五月十七日に告示されました、上ノ国町長選挙において、六度目の立候補をさせていただきましたところ、町民皆様から身に余る特段のご支持を賜り、悠久の歴史と伝統に輝く上ノ国町の町長として引き続き町政を担わせていただくこととなりました。

六期目の町政執行に当たりましては、町民皆様から賜りましたご支持に応えられるよう、第六次上ノ国町総合計画で示した基本理念、「安心・安全」「学び・自律」「参画・協働」を掲げるとともに、「みんなで創る、誇れるふるさと上ノ国」という将来像を目指して、全身全霊をもつて取り組んで参る決意でございます。

これまでの五期二十年間を顧みますと、就任当時は厳しい財政状況でありました。この現状を変えるため、平成十七年度を初年度とする五年間の行財政改革（自立プラン）を策定し、厳

しい財政状況や、目指すまちづくりの形について、町民皆様に共通の認識を持つていただくようお願いし、改革を断行した結果、財政の健全化を成し遂げました。

その後、産業振興のため、農業者、漁業者および商工業者への手厚い補助制度や、付加価値向上のための施設整備などを実施し、地域産業の継続性にまい進してきました。

また、本町を支える子育て世代を支援するため、他市町村に先駆けて十八歳までの医療費無料化を実施したほか、保育料の無償化および、小・中学校の給食費全額補助制度の施策を実行いたしました。



このほか、情報通信環境の整備として道内でも早い段階で町内一円に光ファイバーを敷設し、多くの方がより良い環境で運動できるようにスポーツセンターを新設、更には保護者が児童を安心して預けられるように、「保育所、放課後児童クラブおよび子ども発達支援センター」を統合した、子ども支援センターを建設しました。また、財源確保のために民間事業者が設置・運営する風力発電事業の推進に支援して参りました。

しかしながら、日本全国で人口減少は確実に進んでおり、本町においても十年後には三千人を下回るものと予想されます。

このような状況においても、持続可能なまちづくりを進めるためには、自主財源の確保が絶対的に必要となることから、洋上風力発電事業の誘致を推進し、町税の増収や地元経済への効果をもたらすことを政策の柱として取り組んで参ります。

それでは、第六次上ノ国町総合計画の基本目標に沿って、本年度の施策の方針について申し上げます。

第6次上ノ国町総合計画基本理念

「安心・安全」

事故や災害、犯罪から守られ生活者の視点を大切にして

「学び・自律」

学びあいの中から、自ら考え自らを律し、創意工夫で

「参画・協働」

互いに手を取り合い、共に協力し、知恵を持ち寄って